乗車の定員 二輪の自転車は原則1人乗りの車両です。

例外として以下の場合に2人(3人)乗車することが認められています。

幼児2人同乗用自転車ですか?

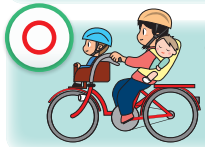
同乗用自転車

●16歳以上の運転者が、未就学児2名を乗せて運転

4人乗りは出来ません

同乗用自転車でない

●16歳以上の運転者が、未就学児1名を乗せて運転
●16歳以上の運転者が4歳未満の者をひも等で確実に背負って運転



●16歳以上の運転者が未就学児1名を乗車させ、4歳未満の者をひも等で確実に背負って運転

小学生になると同乗できません

幼児2人同乗用自転車は、国内の安全基準であるSGマークやBAAマークなどの付いた安全な自転車を使用しましょう。

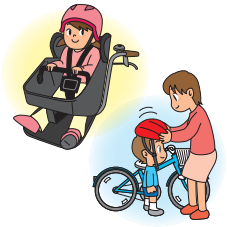
SGマーク　BAAマーク

ヘルメットとシートベルトは確実に!

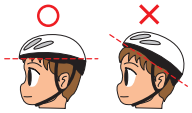
自転車乗用中に転倒等で負傷した幼児の**約4割**が**頭部・顔面部**を負傷しています。大阪府警察調べ(令和3年中)

●幼児を自転車に乗せる時は自転車用ヘルメットはもちろん、急ブレーキ等に備え、シートベルトもしっかり着用しましょう。

●スタンドを立てた状態で幼児を乗せたまま、自転車から離れないようにしましょう。



正しいヘルメットのかぶり方



あごひもをしっかりとめ正しく着用しましょう

自転車運転者講習制度

14歳以上が対象

※公安委員会が講習の受講を命じる

一定の危険な違反行為をして3年以内に**2回以上**検挙され又は事故を起こした**悪質自転車運転者**

※受講命令に従わない場合

自転車運転者講習を受講
■講習時間:3時間
■手数料:6,000円

5万円以下の罰金

大阪府自転車条例

自転車保険の加入が義務化されています

自転車事故を補償する保険に加入しましょう

◆自転車安全整備店で点検・整備を受けると「TSマーク」を貼ってもらえます。
◆「TSマーク」には、点検日から1年間有効な賠償責任・傷害保険がついています。(詳しくはお近くの自転車安全整備店で)

自転車安全整備店の看板　青色TSマーク　赤色TSマーク

1年に1度は、自転車安全整備店で点検・整備を受けましょう

車に乗せる時の注意

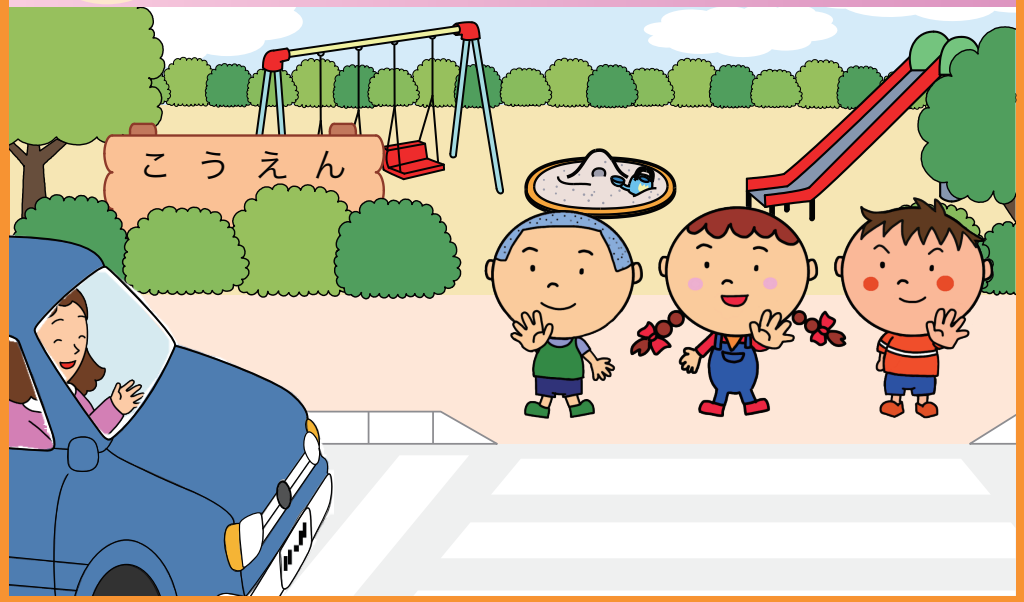
●幼児(6歳未満)にはチャイルドシートを着用させなければいけません。
●乗るときは最初に子供を乗せ、降りるときは最後に子供を降ろしましょう。
●チャイルドシートは後部座席に取り付けましょう。
●取扱い説明書をよく読んで正しく使用しましょう。
●チャイルドロックを使用しましょう。

チャイルドシートは発育に応じて、体格に合わせて選びましょう

4.3.31

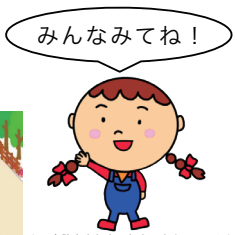
交通安全テキスト

1 幼児・保護者



『なっちゃんのこうつうあんぜんきょうしつ』

YouTube 大阪府警察交通部公式チャンネル



大阪府警察本部交通部交通安全キャラクター
なっちゃん

左記のQRコードを読み込んでください!

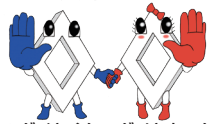
LINE

交通安全情報発信中!

LINE・YouTube で交通安全に関する情報を発信しています。QRコードを読み込んで、是非登録してください。

YouTube

横断歩道ハンドサイン運動 実施中!!



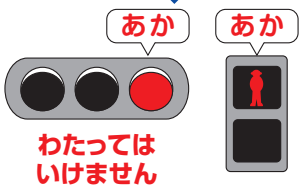
ダイヤくん　ダイヤちゃん

大阪府警察・(一財)大阪府交通安全協会
(大阪府交通安全活動推進センター)

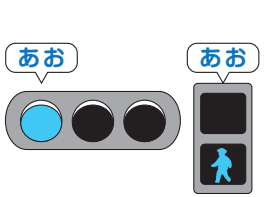
こうつうルールをまもりましょう

しんごうをまもりましょう

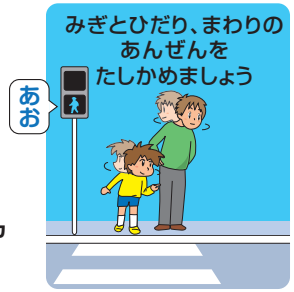
こんなときは



●あおでもくるまがまがってくるかもしれません！

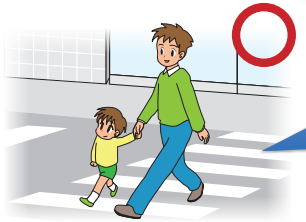


●あおになってもすぐにわたりはじめてはいけません



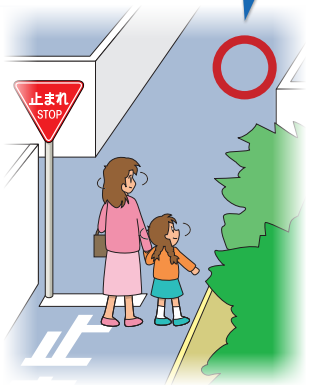
とびだしはやめましょう

どうろであそんではいけません



おうだんほどうをわたりましょう

こうさてんではみぎ・ひだりをみてあんぜんをたしかめましょう



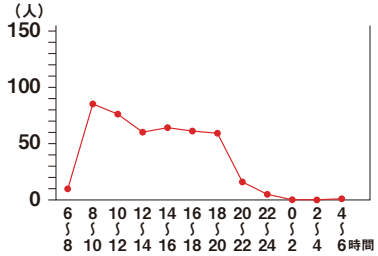
保護者の皆様へ

幼児の事故の特徴

大阪府警察調べ（令和3年中）

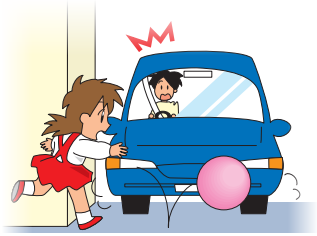
時間別の死傷者数

幼児の事故は、**朝と夕方**にかけて多発しています！



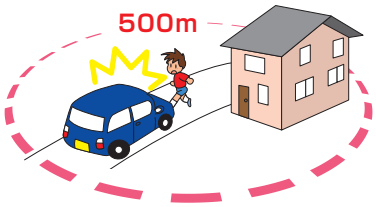
飛び出し危険!

歩行中の幼児の交通事故の原因は**約4割**が**飛び出し**です。



自宅の近くで事故多発

幼児が歩行中及び自転車乗用中に死傷した交通事故の**約5割**が、自宅から**500m以内**で発生しています。
慣れた場所でもしっかりと安全確認をしましょう。



子供を守るのは、保護者のみなさんです!

幼児は大人のまねをします。大人が良いお手本を示せば、幼児はそのとおりに行動します。保護者のみなさんが良いお手本となり、日常生活の中で交通ルールを繰り返し教えてください。

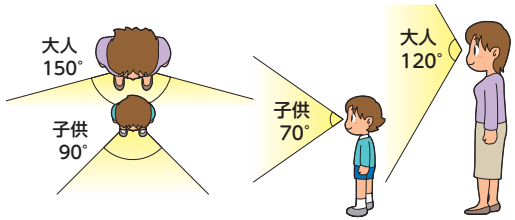
子供から目を離さないようにしましょう

幼児は興味のあるものに注意が向くと周りが目に入らなくなる傾向があります。

車の近くや駐車場等で遊ばせないようにしましょう

幼児は、ちょっとした物かげで遊びたがる傾向があります。

大人と子供の視野の違い



子供の視野は狭いので、安全確認する時は**首をしっかり振って**、遠くまで見るよう指導してください。